

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

広尾町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道広尾郡広尾町

3 地域再生計画の区域

北海道広尾郡広尾町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は昭和40(1965)年に総人口が13,598人となりピークを迎えたが、1970年代の高度経済成長期に2,000人を超える人口が減少した。その後、人口が維持される時期もあったが、1980年代後半以降は一貫して人口減少が続いている状況にある。直近の人口は、令和2(2020)年の6,387人(令和2年国勢調査)であり、ピーク時から約50年で人口は半減した。ここ5年間の人口減少率は約10.7%となっており、国及び北海道と比較して、かなり早い時期から人口減少が進行している。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和27(2045)年には3,394人、令和47(2065)年には1,770人にまで減少すると見込まれている。

人口減少の要因として、本町の出生数は、平成13(2001)年から減少傾向にあり、平成12(2000)年の85人から令和4(2022)年は22人となっている。社会増減は、令和2(2020)年から令和4(2022)年の直近3年間の平均がマイナス80.3人となっている等、毎年転出者が転入者を上回る状況が続いている。これは、進学や就職を機会とした若年層の転出超過が原因と考えられる。基幹産業のひとつである漁業では、深刻な担い手不足と高齢化が進んでおり、漁業所得が低下や、ひいては地域経済の衰退を招くおそれがある。

今後も人口減少が進むことで、町内会などの地域コミュニティ機能の喪失や、中長期的には、集落が維持できなくなることも指摘されているほか、子どもの教育や遊び場の確保、買い物や交通の維持、医療や福祉の需給バランス等、地域社

会における様々な分野に影響を及ぼすことが懸念される。

これらの課題に対応するため、産業の育成と新たな雇用の創出により、地域に活力を与えることを目指すとともに、移住・定住を促進し、継続的な生産年齢人口の確保、社会増につなげる。また、若者の出会いの場や子どもを産み育てる環境を整えることにより自然減を抑制するほか、ひとづくりと魅力的なまちづくりを進め、誰もが居場所と役割を持ち、安心して楽しく暮らせる地域社会の創出を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 海と大地に根ざした活気あふれる産業の育成と新たな雇用の創出
- ・基本目標 2 海と山が溶け込むまち・広尾はあなたを待ってます
- ・基本目標 3 サンタのまちで子どもを産み育てる環境の充実と健やかな成長を支援
- ・基本目標 4 まちを知り、まちに関わる人を育て、まちの魅力を発信する

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の政策分野
ア	新規起業件数(累計)	1件	10件	政策分野 1
	雇用創出に貢献する企業・事業所数(累計)	0社	10社	
イ	起業や転職、U I J ターンによる移住者数(累計)	17人	80人	政策分野 2
	人口の社会減の数(単年度)	-57人	-80人	
ウ	年間出生数(単年度)	17人	35人	政策分野 3
エ	大丸山森林公園への来場者数(単年度)	32,060人	40,000人	政策分野 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

広尾町まち・ひと・しごとづくり事業

ア 海と大地に根ざした活気あふれる産業の育成と新たな雇用の創出事業

イ 海と山が溶け込むまち・広尾はあなたを待ってます事業

ウ サンタのまちで子どもを産み育てる環境の充実と健やかな成長を支援事業

エ まちを知り、まちに関わる人を育て、まちの魅力を発信する事業

② 事業の内容

ア 海と大地に根ざした活気あふれる産業の育成と新たな雇用の創出事業

海と山がともにある本町の強みを生かした「しごとづくり」をめざす事業

【具体的な事業】

- ・ 第一次産業及び商工業の活性化につながる雇用・起業支援
- ・ 十勝港の利活用の促進
- ・ 「広尾の食資源、森林資源」開発と伝承 等

イ 海と山が溶け込むまち・広尾はあなたを待ってます事業

多様な移住体験をきっかけに、広尾ファンを全国につくり、将来の移住定住につなげる事業

【具体的な事業】

- ・ 多様な移住体験による関係人口拡大
- ・ 都市部との交流を通じたまちの賑わいの創出
- ・ 地域拠点としての広尾高校改革 等

ウ サンタのまちで子どもを産み育てる環境の充実と健やかな成長を支援事業

子どもの健やかな成長を、地域の子育て支援拠点を核にまちぐるみで
支え合うことをめざし、「まちの未来を想う子どもたち」を皆で育てる
事業

【具体的な事業】

- ・若者の出会いの場創出
- ・子育て環境の充実と支援 等

エ まちを知り、まちに関わる人を育て、まちの魅力を発信する事業

町民参加を基本に各々の持つ個性や考えを尊重しながら、まちづくり
のアイデアを出し合って実現に向けて取組むほか、デジタルの力を有効
活用し、地域の個性を活かしつつ、魅力あふれる地域づくりを推進する
事業

【具体的な事業】

- ・広尾を学び、まちづくりに関わる人材の育成
- ・サンタのまちの新しい観光産業の創出と情報発信の強化
- ・多彩な地域交流によるまちの魅力向上
- ・誰もが居場所と役割を持ち、安心して楽しく暮らせる地域社会の創
出 等

※ なお、詳細はデジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期広尾町総
合戦略（令和5～9年度）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

32,500 千円（2024 年度～2027 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃、外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針
を決定する。検証後は速やかに広尾町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで